

# 令和元年度岡山県立大学 「全学講義」のご案内

本学では広く学生の教養を高め、地域の文化の向上に寄与することを目的に「全学講義」を開催しています。

本年度は、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 青田 良介 (あおた りょうすけ) 先生をお迎えしてご講演いただきます。

どなたでも聴講できますので多数の参加をお待ちしています。

## 記

- 1 日 時 令和元年 5 月 22 日 (水)  
12 時 40 分～14 時 10 分
- 2 場 所 岡山県立大学講堂  
総社市窪木 1 1 1
- 3 講 師 兵庫県立大学大学院  
減災復興政策研究科教授  
青田 良介 先生



### (経歴)

1960 年、兵庫県生まれ。兵庫県職員として阪神・淡路大震災を経験。1998 年にアジア防災センターに出向し、アジア地域各国との防災協力を進める。2001 年に神戸大学大学院に進学し、仕事の傍ら、防災研究に取り組む。2015 年 3 月に兵庫県を退職し、兵庫県立大学に転身。2017 年 4 月に新設された兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科にて、「被災者支援政策」「自助・共助・公助による減災復興」「国際防災協力」等に関する教育・研究に携わる。尼崎市総合計画審議会委員の他、大学コンソーシアムひょうご神戸による学生災害ボランティア活動にも従事。論文・著書等に、『災害に立ち向かう人づくりー減災復興とガバナンス 多様な担い手が協働し災害に強い社会を創る』『被災者生活再建支援法ー復興基金の役割・義援金の役割・東日本大震災における運用と課題』『みんなく実践人類学シリーズ 9 自然災害と復興支援ースリランカ南部を中心にした住宅再建について』などがある。

### 4 演 題 「阪神・淡路大震災からの教訓と市民力」

1995 年に起こった阪神・淡路大震災は、それまで経験したことのない大都市直下型災害で、壊滅的被害をもたらした。当時、被災者を支援する方策が確立されていない中で、自然発生的にボランティアが立ち上がり、被災者に寄り添い、新たな社会の仕組みを生み出していった。これらは行政による「公助」とは別に、「自助」「共助」として認識されていく。その究極の目標は市民力を醸成することであり、その後の災害への教訓として継承されている。

### 5 その他 申込不要 (聴講無料)

\* 問合せ先 岡山県立大学教学課 (電話 : 0866-94-2111)